

東北で大人気の「いのちのアサガオ」(現地スタッフ「てつ」こと日置哲二郎さんから)

「いのちのアサガオ」は、平成5年に白血病のため7才で亡くなった丹後光祐君が、約3ヶ月間だけ通った小学校で大事に育てていた”アサガオ”です。おかあさんのまみこさんが、そのアサガオを育て続け、「アサガオが親善大使となって、命の尊さ、白血病に苦しむ人がいることを知って欲しい」と願って、多くの小中学校などに配られています。

日本リザルツでは、東北での復興活動において、殺風景で無機質な仮設住宅と周辺施設をお花で一杯にして、明るくして住民の方々と心の安らぎを共有しようと計画しました。その際に、「骨髓バンク命のアサガオにいがた」の丹後まみこさんのご好意により、1万袋(1袋5粒の種、5万粒)のアサガオの種を無償提供して頂きました。

7月上旬には、仮設住宅周辺でのイベントに合せ、アサガオの種を一つ一つ植え、苗に成長させてきました。そして、イベント当日には、アサガオの種の袋と苗を仮設住宅のみな様にお配りしました。多くの方がアサガオの種と苗を受け取り、笑顔に包まれながら持ち帰る姿を目にしました。また、現地協力団体であるカリタスジャパン(釜石市)と共同で、アサガオの苗と土とプランターを中妻町、平田町、平田町第2、第3、第4仮設団地など、釜石市にある仮設住宅のみな様に届けてきました。また、子ども達にも喜んでもらおうと、地元保育園などにも届けました。その後、仮設住宅を尋ねると、「いのちのアサガオを知っている。大切に育てたい。」、「お花が好きで、花が咲くのが楽しみ。水やりが毎日の日課です。」などの声が聞かれた。

8月中旬、暑い天候が続くなか、アサガオの成長が心配されたが、みな様のお世話で、順調に成長していました。そして、9月に入ると朝夕が涼しくなり、色とりどりのこうすけ君のアサガオの花が仮設住宅で力強く咲いています。

※こうすけ君の「いのちのアサガオ」に関する情報は、<http://www.iplus.jp/~asagao/>



*種から一つ一つ育てた苗



*各仮設住宅にお届けした苗



*順調に成長中のアサガオ



*8月中旬、綺麗に咲いたアサガオ



*生い茂るアサガオ



*アサガオに囲まれた仮設住宅